

経済学部A方式Ⅱ日程・社会学部A方式Ⅱ日程
スポーツ健康学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60 分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～17	日 本 史	18～41
世 界 史	42～55	地 理	56～62
数 学	64～65		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学は以下の注意事項に従うこと。
 - ・解答用紙の所定の欄に受験学部を○で囲むこと。
 - ・解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
 - ・その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

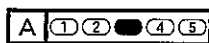
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

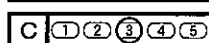
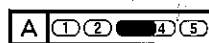
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(世界史)

〔I〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

バビロニアには前7世紀後半カルデア人による [ア] 王国が成立し、
[1] の時代に最盛期を迎えたが、前6世紀後半には [イ] 朝ペルシア
による統一国家が実現した。バビロニア一帯にはマルドゥクという国家神が最高
神として国家の正統性を認めるという伝統があったという。 [イ] 朝第3代
の王 [2] は、西は小アジアから東は現在のアフガニスタンやパキスタンに
および、北はアルメニア、ウズベキスタン、南はエジプトにおよぶ大帝国を打ち
立てた。 [2] が首都 [A] に建設した王宮の造営には、メソポタミア、
エジプト、ギリシアの諸地域からの民族が関わったという。この時代の経済・社
会・生産労働組織・生活は、 [B] と呼ばれるインフラで支えられていた。
また、商取引に用いられたペルセポリス出土の膨大な城塞粘土板には印章が押さ
れており、この時代、印章によって取引の個人を特定する習慣があったことは興
味深い。この粘土板は、前1200年ころからシリアの都市 [C] を中心に内陸
都市を結ぶ中継貿易に活躍した人々の言葉 [D] 語で記されていた。かれら
の言葉は国際的な商業語として広く使われ、 [ア] 王国や [イ] 朝など
の公用語にもなった。

[E] のギリシア人植民市 [F] などが [2] の支配に激しい反
乱をおこし、これをギリシアが支援したことから、 [2] は前5世紀に入り
ギリシアとの戦争に突入した。ペルシア軍は [あ] 年マラトンの戦いで、ま
た、 [い] 年サラミスの戦いに敗れた。そして、 [イ] 朝は [う]
年に [3] によって滅ぼされた。

[3] のバビロニアへの進出によって、ペルシアの帝国が崩壊したことは
この地域の歴史を大きく変え、それに伴いさまざまな出土資料に用いられる言語
にはギリシア語が登場するようになる。この時代は [3] の後継者の一人が
建てた [ウ] 朝が滅亡する [え] 年まで約300年続き、ヘレニズム時代

と言われる。このヘレニズムという言葉は、ギリシア神話のヘレーン(ギリシア人の祖と言われる)の名前に由来し、この時期は確かにギリシア人がオリエントに多くの都市を建設した。しかし、ギリシア人が実際にオリエントを支配していたかについては見解が分かれるともいう。それは、ひとつにオリエントのギリシア化はギリシア文化の浸透という側面があるが、他方でギリシア人とペルシア人エリートとの婚姻関係によって、合同の支配層が形成されたということにあるようである。

3 の死後、後継者(ディアドコイ)の一人が建国した エ 朝は西アジアの大部分を支配したが、アム川上流域にギリシア系住民が自立して建てた オ と、イラン系の遊牧民の族長 4 によって建国された カ が台頭した。カ は中央アジアなど四方からの脅威にさらされたものの、前1世紀半ばティグリス川中流の G を都とし、キ, カラクスといった隊商都市を中心に盛んな交易を行なった。これらの都市の歴史はそれぞれ性格を異にするが、G は冬の王都とされ、キ は女王ゼノビアのとき、ローマとの戦いに敗れた。他方、カラクスは1世紀中頃エジプト在住のギリシア人が記したとされる『エリュトラ海案内記』にも出てくる重要な商業地であった。この都市はもともと 3 が建設した都市といわれるが、後に彼の名を外して当時西アジアの国際商業語であった D 語のカルカー(城壁で囲まれた都市)にちなんでカラクスと呼ばれるようになったという。

ヘレニズム時代、文化的にはギリシア文化とオリエント文化の融合が進み、それはおもに西アジアの都市に居住するギリシア人によって担われたという。

ウ 朝の都 H には博物館(ミュージアム)の語源であるムセイオンが設立され、シチリア出身の数学・物理学者 5 や、平面幾何学を大成した 6 はここで学んだ。ムセイオンの館長であった 7 は地球の周囲をほぼ正確に計測した。

問1 空欄 ～ に相応しいものを以下の語群から選び、解答欄にマークせよ。

- | | |
|--------------|------------|
| a アリスタルコス | b アリストテレス |
| c アリストファネス | d アルキメデス |
| e アルサケス | f アルダシール1世 |
| g アレクサンドロス大王 | h ヴェルギリウス |
| i エウクレイデス | j エウリピデス |
| k エラトステネス | l キュロス2世 |
| m セネカ | n ダレイオス1世 |
| o ネブカドネザル2世 | p フィリポス2世 |
| q プトレマイオス | r プリニウス |
| s プルタルコス | t リヴィウス |

問2 空欄 ～ に相応しいものを以下の語群から選び、解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-----------|-----------|---------|
| a アケメネス | b アンティゴノス | c エフタル |
| d ササン | e 新バビロニア | f セレウコス |
| g バクトリア | h パルティア | i パルミラ |
| j プトレマイオス | k フェルガナ | l マケドニア |
| m メディア | n リディア | |

問3 空欄 ~ に相応しいものを以下の語群から選び、解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|----------|------------|
| a アラム | b アルベラ | c アレクサンドリア |
| d イオニア | e ウガリト | f 「王の道」 |
| g 「王の耳」 | h クテシフォン | i サトラップ |
| j スサ | k セレウキア | l ダマスクス |
| m テッサリア | n バビロン | o パルティア |
| p ミレトス | | |

問4 空欄 ~ に相応しいものを以下の語群から選び、解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| a 前490 | b 前480 | c 前431 | d 前333 |
| e 前331 | f 前330 | g 前63 | h 前30 |

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

近代の東アジアでは、欧米列強の進出と日本の勢力伸長によって、さまざまな連鎖や摩擦が繰り返されてきた。

そのきっかけとなったのがアヘン戦争である。清は戦争に敗北し、イギリスと1842年に南京条約、翌43年には領事裁判権や協定関税、最恵国待遇などを認める不平等条約を結んだ。その頃、清の による欧米の情報収集をもとにして、 の依頼で魏源が執筆した は、幕末の江戸幕府の西洋に対する姿勢に大きな影響を及ぼしたと言われる。

朝鮮半島の歴代王朝は、伝統的に中国と深い関係にあった。朝鮮王朝は1860年⁽¹⁾代になって開国を迫る欧米諸国に対して、第26代国王 の父で摂政の大院君がこれを拒否し攘夷策をとった。軍事力を背景に朝鮮を開国させたのは、当時近隣への勢力拡大を図りつつあった隣国の日本であり、⁽²⁾その際に結ばれた不平等な条約を日朝修好条規という。この条約によって朝鮮内の三港が開港させられた。⁽³⁾

その後、1880年代から90年代にかけて、朝鮮との宗属関係を強化しようとする清と、朝鮮半島への勢力伸長を図ろうとする日本とのあいだで朝鮮支配をめぐる対立が激しくなっていく。1884年に起こった甲申政変をめぐる両国は朝鮮半島で一触即発の状態になるが、甲申政変の処理に関して日本と清は 条約を結び、その後、1894年までのあいだは両国の軍事衝突は起こらなかった。⁽⁴⁾

朝鮮半島では政治や経済の動揺を背景に、19世紀を通じてさまざまな民衆運動が発生したが、⁽⁵⁾1894年、日清両国が朝鮮半島に出兵するきっかけとなった民衆運動が発生した(甲午農民戦争)。 らを指導者とする農民反乱は朝鮮半島の 道で起こり、両国の出兵は日清戦争へと発展していった。

日清戦争での日本の勝利は、その後の中国と朝鮮の歴史に大きな影響をもたらす結果となった。それまで、西洋諸国は中国を「眠れる獅子」と比喻してきたが、日清戦争後、中国分割に一斉に乗り出していった。そうした危機の中で、中国では、1898年根本的な制度変革を断行する が起こったが、 を中心とする保守派のクーデターである によって失敗してしまう。他方、民衆レベルでは各地で欧米列強の進出やキリスト教の布教に対する民族的反発が

高まりつつあった。なかでも、宗教結社義和団による武装蜂起には清朝も同調して列強に宣戦布告をし、これに対して八カ国が共同出兵をした。敗れた清は⁽⁶⁾ カ国と北京議定書を結び、半植民地化がさらに進む結果となった。中国はこの後、近代化と革命、独立をめぐって多難な道を歩むことになる。⁽⁷⁾

朝鮮王朝は日清戦争後、1897年に国号を大韓帝国と改め、を皇帝として自主独立国であることを目指す外交を試みたが、清の後退後は日本とロシアが朝鮮支配をめぐって対立を深め、1904年には日露戦争が勃発した。日本は日露戦争以降、三つの日韓協約を通じて朝鮮の実質的支配を推し進めていった。⁽⁸⁾それに対し、朝鮮では教育や産業育成などを通じて独立を目指そうとすると、朝鮮全土に広がった武装抗日闘争である義兵闘争という、二つの種類の民族運動が起こった。日本は1907年以降、憲兵や警察、軍事力を背景にこれらを本格的におさえ込み、1910年に韓国を併合した。⁽⁹⁾この後、朝鮮は1945年まで日本の植民地支配を受けることになる。⁽¹⁰⁾

問1 空欄 ~ に当てはまる最も適当な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|---|----------|----------|----------|
| 1 | ア 『海游録』 | イ 『海国図志』 | ウ 『読通鑑論』 |
| | エ 『万国公法』 | オ 『唐風説書』 | |
| 2 | ア 江華島 | イ 濟物浦 | ウ 天津 |
| | エ 南京 | オ 北京 | |
| 3 | ア 咸鏡 | イ 京畿 | ウ 慶尚 |
| | エ 全羅 | オ 江原 | |
| 4 | ア 壬戌の政変 | イ 壬戌の変法 | ウ 戊戌の政変 |
| | エ 戊戌の変法 | | |
| 5 | ア 壬戌の政変 | イ 壬戌の変法 | ウ 戊戌の政変 |
| | エ 戊戌の変法 | | |
| 6 | ア 愛国啓蒙運動 | イ 東遊運動 | ウ 独立協会運動 |
| | エ 洋務運動 | オ 農村振興運動 | |

問2 空欄 ～ に当てはまる人名を記入せよ。

問3 空欄 に当てはまる最も適当な数字を記入せよ。

問4 下線部(1)に関して、次のア～エの文のうち間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア 新羅は唐と軍事同盟を結び660年に百済を、668年に高句麗を滅ぼした。
- イ 高句麗の遺民と靺鞨人によって建国された渤海は唐に朝貢してその制度・文物を摂取し栄えた。
- ウ 高麗は宋からの冊封を受けている。
- エ 朱子学を朝鮮王朝の官学にしたのは世宗国王である。

問5 下線部(2)に関して、1860～70年代に起こった出来事として、次のア～オのうち間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はカを選べ。

- ア 台湾出兵 イ 琉球の鹿児島県編入 ウ 琉球処分
- エ 征韓論の台頭 オ 樺太・千島交換条約の締結

問6 下線部(3)に関して、次のア～エのうち、開港した三港でないものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 群山 イ 元山 ウ 仁川 エ 釜山

問7 下線部(4)に関して、次のア～エのうち、1894年までに起こった東アジア諸国に関連する出来事が正しく年代順に並んでいるものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しくない場合はオを選べ。

- ア 清仏戦争→同治の中興→シベリア鉄道の工事開始→イリ条約
- イ 同治の中興→イリ条約→清仏戦争→シベリア鉄道の工事開始
- ウ イリ条約→シベリア鉄道の工事開始→同治の中興→清仏戦争
- エ シベリア鉄道の工事開始→清仏戦争→イリ条約→同治の中興

問8 下線部(5)に関して、次の(ア)～(エ)のうち間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

1811～12年に起こった洪景来の乱は、朝鮮西北部平安道の不平官僚と窮乏(ア)農民を中心に起こった。1881年に起こった壬午軍乱は、大院君派の軍隊が閔氏一族の要人や日本人を殺害、日本大使館を焼き打ちにした事件である。(イ)
(ウ)
(エ)

問9 下線部(6)に関して、共同出兵した八カ国について、下記の四カ国以外の四つの国の国名を記入せよ。

アメリカ イギリス ロシア 日本

問10 下線部(7)に関して、次のア～オのうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて間違っている場合はカを選べ。

ア 辛亥革命の理念として掲げられた「三民主義」は、民族主義・民権主義・民主主義の三つからなる。

イ 中国史上最初の共和国中華民国の建設後、臨時大総統となった孫文が袁世凱に政権を追われた後、結成した革命的秘密結社を中国同盟会という。

ウ 1919年5月4日北京で始まった五・四運動は、パリ講和会議で二十一カ条廃棄の要求が拒否されたことへの中国の人々の反発を背景にしており、こうした世論を背景に、袁世凱の北京政府はヴェルサイユ条約の調印を拒否した。

エ 1931年毛沢東を主席としてつくられた中華ソヴィエト共和国臨時政府の首都は瑞金である。

オ 1954年ネルー・周恩来会談でまとめられた平和五原則とは、領土保全と主権の尊重、相互不侵略、内政不干涉、平等と互惠、基本的人権と国連憲章の尊重のことである。

問11 下線部(8)に関して、次のア～エのうち、間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

ア 1904年に結ばれた第一次日韓協約では、大韓帝国の財政・外交に日本政府派遣の顧問を置くことが強制された。

イ 1905年に結ばれた第二次日韓協約は韓国保護条約ともいうが、ここでは大韓帝国の外交権がはく奪された。

ウ 1907年に結ばれた第三次日韓協約によって、日本は大韓帝国内政に関する全権を内部から実質的に掌握することが可能になった。

エ 第三次日韓協約の締結に大きな影響を与えたのは、オランダのハーグで開かれた第1回万国平和会議に韓国皇帝が密使を派遣した事件である。

問12 下線部(9)に関して、次のア～エのうち、1907～1910年に起こったことではないものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 南アフリカ連邦が成立し、英連邦内自治領となる。

イ コンゴ自由国がベルギー政府に移管され、ベルギー領コンゴと改称された。

ウ ファン＝ボイ＝チャウは、広東で反仏秘密結社であるベトナム光復会を設立した。

エ 青年トルコ革命によるオスマン帝国の混乱に乗じて、ブルガリアが完全な独立をはたした。

問13 下線部(10)に関して、日本の朝鮮植民地支配に関連する事柄を述べた次のア～エのうち、間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

ア 韓国併合後、朝鮮総督府は憲兵警察制度を基盤にして力による朝鮮支配を行った。これを武断政治という。言論・運動などの統制や日本語の強制、土地調査事業を通じた土地没収などを行ったため、朝鮮半島の人々の反日的な民族意識は高まった。

イ 1919年3月に起こった三・一運動と同時期に、中国の上海で大韓民国臨時政府が樹立された。初代大統領は李承晩である。

ウ 日中戦争の開始後に行われた朝鮮に対する植民地支配のあり方を皇民化政策という。朝鮮人を皇国臣民にするため、皇居遙拝や神社参拝、皇国臣民の誓詞などを強制するとともに、創氏改名が行なわれた。

エ ローズヴェルト、チャーチル、スターリンのカイロ会談の後、1943年12月に発表されたカイロ宣言で戦後の朝鮮の独立が承認された。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

18世紀半ばにインド経営におけるイギリスとの抗争に敗れたフランスは、19世紀に入り、植民地化のためのさらなる対外進出を模索した。1830年に、は、の属領であったアルジェリアに出兵し、そこを占領し、は1842年、そこを直轄領とした。さらに、は、1856年、フランス人宣教師殺害を理由に、の呼びかけに応じて清に共同出兵し、1858年には、宣教師迫害を口実に、と共同でメコン川下流域のに出兵した。1862年に結ばれたサイゴン講和条約では、東部三省とサイゴンのフランスへの割譲が承認された。翌年、フランスはさらにを保護国化し、1867年には西部も占領した。その後フランスは、1883年までにベトナム中部、北部をも占領し、条約によってベトナムの保護国化が決定した。

アジアでの植民地獲得を図る一方、フランスはアフリカ方面へのさらなる進出を企てた。1878年のベルリン会議で、に対するフランスの宗主権が認められた後、^(B)1881年フランスはに出兵し、保護国化した。その地での鉄道敷設権をめぐるフランスと対立し、この保護国化に不満を持っていたは、フランスの孤立化をはかるの誘いを受け、1882年に三国同盟を結んだ。この頃、ベルギー国王に依頼されたによるコンゴ調査により、アフリカ内陸部をめぐるのヨーロッパ列強間の植民地獲得競争が激化した。フランスは、サハラ砂漠とコンゴに進出し、そこから紅海の出口にあるに至る地域を確保しようとした。しかし、イギリスが、1882年以降事実上保護国としていたから南下してに至るまでの地域を獲得しようとしたので、1898年に両国はのファシヨダで衝突することになった。だが、フランスが譲歩し、1904年、英仏協商^(C)によって最終的な解決がはかられた。この両国の協力関係は、強大化するへの対抗策として生じたものであり、フランスはにおけるイギリスの支配的地位を認めるかわりに、イギリスはにおけるフランスの支配的地位を認めた。この結果、フランスの支配に対して、二度にわたって

は挑戦や干渉を行った。これに対してフランスは、1906年の 会議ではイギリスの支援によってその要求を押さえ込み、第二回目の干渉であった への軍艦派遣による牽制の際には、イギリスの支援に加え、 領である に隣接するフランス領 の一部を譲渡することによって の要求を断念させ、 を保護国化した。

問1 空欄 ～ に当てはまるもっとも適切な人名を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------------|--------------|------------|
| a ヴィルヘルム 1 世 | b ヴィルヘルム 2 世 | c カヴール |
| d クレマンソー | e ゴードン | f シャルル 9 世 |
| g シャルル 10 世 | h スタンリー | i セシル＝ローズ |
| j テイエール | k デイズレーリ | l ティラク |
| m ナポレオン 3 世 | n ピアリ | o ビスマルク |
| p ブルム | q フランツ 2 世 | r ヘディン |
| s ラマルティーヌ | t リヴィングストン | u レセップス |
| v ルイ 18 世 | w ルイ＝フィリップ | x ルイ＝ブラン |
| y レオポルド 1 世 | z レオポルド 2 世 | |

問2 空欄 ～ に当てはまるもっとも適切な国名・地名を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| a アメリカ | b イギリス | c イタリア |
| d エジプト | e エチオピア | f エリトリア |
| g オスマン帝国 | h オランダ | i カメルーン |
| j カンボジア | k ケープ植民地 | l コンゴ |
| m サモリ | n ジブチ | o スーダン |
| p スペイン | q セネガル | r タイ |
| s チュニジア | t ドイツ | u ナイジェリア |
| v ビルマ | w モロッコ | x ラオス |
| y リビア | z ロシア | |

問3 空欄 ～ に入るもっとも適切な名称を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-------------|------------|----------|
| a アガディール | b アルジャディーダ | c アルヘシラス |
| d ウィーン | e ヴェルサイユ | f カサブランカ |
| g カムラン | h コーチシナ | i サイゴン |
| j 上海 | k ジュネーブ | l タンジール |
| m デイエンピエンフー | n 天津 | o トリポリ |
| p ドンホイ | q 南京 | r ヌイイ |
| s ハノイ | t パリ | u ビエンチャン |
| v ユエ(フエ) | w ロンドン | |

問4 下線部(A)~(C)に関連した次の説明文中の空欄 ~ に入る最も適切な語句を下記の語群の中からそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- (A) アルジェリアの先住民は 人であるが、フランスによる占領以降、新たな行政組織の設置が進むとともに、フランスや他のヨーロッパ諸国から多くの人々が入植するようになった。この入植者は独立に抵抗したため、入植者・現地軍部と民族解放戦線との間で武装抗争状態になった。第二次世界大戦後新たに制定された憲法に基づき発足したフランスの はこの植民地問題によって1958年崩壊した。
- (B) この会議の結果締結された条約で、 がキプロス島の行政権を獲得し、 がボスニア・ヘルツェゴヴィナの統治権を獲得した。
- (C) この協商以前に , この協商後に が結ばれたことにより、三国協商が成立した。

[語群]

- | | | | | | |
|---|--------|---|----------|---|----------|
| a | イギリス | b | イタリア | c | 英ソ相互援助条約 |
| d | 英露協商 | e | オスマン帝国 | f | オーストリア |
| g | ギリシア | h | 再保障条約 | i | 三帝同盟 |
| j | 新三帝同盟 | k | セルビア | l | ソグド |
| m | 第三共和政 | n | 第四共和政 | o | 第五共和政 |
| p | ドイツ | q | 独墺同盟 | r | 独ソ不可侵条約 |
| s | バルカン同盟 | t | ブール | u | ブルガリア |
| v | ベルベル | w | マジヤール | x | ロシア |
| y | 露仏同盟 | z | ロンドン秘密条約 | | |